

オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.35

大崎耕土インスタフォトコンテスト
テスト入選作品決定!

世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

令和4年6月から9月にかけて開催した「大崎耕土インスタフォトコンテスト」では、たくさんの応募ありがとうございました。

厳正なる審査の結果、応募作品総数701点の中から、グランプリ1点、準グランプリ2点、最優秀賞10点の合計13点が選ばれました。

入選作品は、大崎地域世界農業遺産推進協議会のウェブサイトで公開しています。1市4町の魅力をとらえた作品ばかりですので、写真から世界農業遺産の魅力を再発見してみませんか。



■グランプリ受賞作品
タイトル:「船形連峰と春の月」
撮影者:遊佐 徹 氏
(大崎市古川)



大崎耕土ウェブサイトはこちら▶

大崎さんの食育コラム

その22

3月3日はひな祭り!



世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

ひな祭りは、女の子の健全な成長をお祝いする行事だよ。厳しい寒さに耐えてきた桃の花が咲く季節だから「桃の節句」ともいわれているよ。また、ひな祭りは元々、平安時代に紙人形を作って海や川に流してお祓いする行事からきているんだ。

ひな祭りの行事食には意味があって、「ひなあられ」は桃・緑・黄・白の4色で日本の四季を表していて、「一年間健康で過ごせますように」という願いが込められているんだ。そして、「ちらし寿司」に入っている豆は「健康でまめに働ける」、「エビは「長寿」という意味があるんだ。ちらし寿司に合う「はまぐりのお吸い物」は、対になっている貝殻が、ほかの貝殻と合わないことから一生添い遂げる夫婦になんているよ。

行事の由来や食事に関心を持っている意味を知ると楽しくなるね!

市長コラム 天地人 断髪式に参加して

1月28日、両国国技館で行われた第69代横綱白鵬改め宮城野親方の断髪式にご招待いただき参加してまいりました。

定員1万2千人の国技館は超満員。歌舞伎役者の市川團十郎さんの三番叟(さんばんそう)でオープニングし、白鵬最後の相撲、最後の土俵入りを披露。

断髪式は、親方衆や現役力士など角界関係者の他にも、政界、財界、スポーツ界、芸能界などさまざまな分野の著名人に加え、海外からの来賓など280人がはさみを入れ、前宮城野親方が止めばさみで大銀杏(おおいちよう)を切り落としました。私も、27番目にはさみを入れ、労いと激励の言葉をかけて、大役を果たしてきました。

歴代最多45回の優勝、横綱在位14年など、前人未踏の金字塔を打ち立て、名実ともに一時代を築いた大横綱らしい前代未聞の豪華引退式を行いました。



白鵬さんが継承した宮城野部屋は、仙台藩お抱え力士であった宮城野錦之助が興した部屋で、白鵬さんで13代目、宮城県に大変縁があり、230年の歴史がある部屋です。

白鵬さんと大崎市との縁は、東日本大震災で鳴子温泉に二次避難していた被災者を慰問激励においていただいたことに始まります。

以来、観光大使「おおさき宝大使」にご就任いただき、各種イベントへの出演、交流、観光ポスターへの出演、優勝額や土俵入り用綱の寄贈、災害見舞金の寄付等々、大崎市の守護神でした。

これまでの活躍と交流に感謝申し上げ、今後親方の横綱として活躍されることを願っております。

大崎市長 髙橋 康志

大崎市公式SNS発信中です!

ツイッター フェイスブック インスタグラム
市公式SNS(Twitter, Facebook, Instagram)では、観光やイベント情報などを発信しています! 二次元コードから、登録をお願いします。



図書館の情報
を発信⇒





男女共同参画相談室 With おおさき
の情報を発信↓









秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

今月の表紙

2月5日、田尻総合体育館を会場に「第50回田尻クロスカントリー大会」が開催されました。

3年ぶりの開催となった今回は、小学生から最高齢78歳のランナーがエントリーし、市内外さらには県外から515人が出走しました。また、第50回の記念大会となる今回は、元日本ケミコン株式会社陸上部で活躍した、高橋千恵美さんをゲストランナーとして迎えて、大会に華を添えていました。

大会当日は、この時期には珍しく穏やかな晴天となり、ランナーたちは沿道からの声援を受け、田園風景の中を疾走し、さわやかな汗を流していました。

高橋さん

▲田尻での思い出を語る



▲思い思いの衣装で走る選手たち



みんなで知ろう! 考えよう! 行動しよう! Let's! 男女共同参画 vol.6 多様性の尊重「LGBTQとALLY」

まちづくり推進課男女共同参画推進室 ☎23-2103

「多様性を尊重し包摂的な社会を実現していく」誰一人取り残さない持続可能な開発目標SDGsは、男女共同参画社会実現のためのアクションといえます。ゴール5「ジェンダー平等」を含む、全部で17のゴール「目標」に向けた行動が展開されています。

中でも、ジェンダーバイアスといわれる「固定的性別役割分担意識」の解消をはじめ、「LGBTQ(性的少数派)」への理解促進が必要です。

市が行う中学生を対象とした学習会では、日本人の13人に1人はLGBTQで、「左利きの人」「AB型の人」と同じくらい身近にいると伝えています。そして、周りに「いない」のではなく「言えない」人が多いともいわれています。性的マイノリティの理解者・味方を「ALLY」といい、孤立しがちな当事者を支援する活動をしています。

差別や偏見がない社会は、一人一人の言動によってつくられていくものなのです。

広報おおさき3月号 2023 No.204

Main Contents		目次
04	市の組織機構が変わります	
06	新型コロナウイルス感染症関連情報	
07	4月からは法律に基づいて個人情報保護されます	
08	地域の課題解決に交付金が活用されています	
09	OSAKI Culture	
10	CITY TOPICS	
11	Discover OSAKI	
12	オオサキプレイガイド	
14	災害への備えを確認しましょう	
	くらしの情報	
15	転出届は郵送とマイナポータルからオンライン手続きができます ほか	
24	子育て支援情報 ほか	
26	相談コーナー	
27	休日救急当番医 ほか	
28	Main Dish	